

安全データシート(SDS)

化学物質が密閉された電池はSDS制度の義務の適用外です。従って、この資料は製品を安全に取り扱うための参考用として提供しています。このSDSは当社が作成時点で知りえた情報を記載していますが、当社はこの情報に関していかなる保証も行わず、それに関するすべての責任を負わないものとします。

SECTION 1 ― 製品及び会社情報

製品名称	<u>無水銀酸化銀電池</u>		
	型名:	SR Battery(0%Hg) all types	
	ブランド:	SEIZAIKEN	
	公称電圧:	1.55 V	
製造元	セイコーインスツル株式会社    マイクロエナジー事業部		
	住所:	〒989-3124 宮城県仙台市青葉区上愛子字松原45-1	
	電話番号:	022-391-9331	FAX番号:    022-391-9330
販売元	セイコーインスツル株式会社    電子デバイス営業総括部		
	住所:	〒261-8507 千葉県千葉市美浜区中瀬1-8	
	電話番号:	043-211-1735	FAX番号:    043-211-8034

SECTION 2 ― 危険有害性の要約

GHS分類                      分類対象外

化学成分は電池の中に密閉されている。しかし、電池の使い方を誤ると、内部から強アルカリ性の電解液やガスが漏れだし、漏れた液体が皮膚や粘膜に付着すると失明などの傷害を引き起こすこともあるので、警告事項、注意事項を必ず遵守すること。

使用の前後にかかわらず、大量の電池をごちゃ混ぜにした場合、電池がショート(短絡)し発熱する場合がある。発熱した場合電池が破裂したり発火する可能性がある。

SECTION 3 ― 組成及び成分情報

単一・混合物の区分                      成形品(Article)

主な原材料及び成分

部材名	原材料名	CAS No.	含有量 (wt%)
負極	亜鉛	7440-66-6	2-15
正極	酸化銀	20667-12-3	15-40
	二酸化マンガン	1313-13-9	1-25
電解液	水酸化ナトリウム水溶液	1310-73-2	3-10
	or 水酸化カリウム水溶液	1310-58-3	1-20

この電池には、水銀、鉛、カドミウムなどの規制物質は使用していない。

SECTION 4 — 応急措置

- 缶から内容物(電解液等)が漏れ出した場合には、以下の処置をとる。
  - 吸入した場合： 呼吸器を刺激する可能性がある。新鮮な空気を吸い、医師の診断を受ける。
  - 皮膚に付いた場合： 水道水などのきれいな水で十分に洗った後、速やかに医師の診断を受ける。
  - 目に入った場合： 水道水などのきれいな水で十分に洗った後、速やかに医師の処置を受ける。
  - 口に入った場合： きれいな水で口の中をよく洗った後、速やかに医師の診断を受ける。
- 電池を飲んでしまった場合には、以下の処置をとる。
  - 飲込んだ場合は直ちに医師の診察を受ける。

SECTION 5 — 火災時の措置

- 消火剤                      水、乾燥砂、あらゆる種類の消火器が使用できる。
- 周辺火災の場合は、破裂を防ぐために高温にならないようにすること。

SECTION 6 — 漏出時の措置

- 製品化された電池はガスや液が漏出しないよう封止されているが、本体から液体の漏出がある場合は、ウェス等でふき取り、換気の良い場所に移す。内容物が人体に触れた場合はSECTION4応急処置にしたがう。

SECTION 7 — 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い                      乳幼児が飲み込まないよう手の届かないところに置くこと。  
加熱したり火の中に投入しないこと。  
分解したり変形させないこと。  
ショート(短絡)させないこと。(+)と(-)を針金などで接続したり、電池を重ねたり、ネックレスやヘアピンなどの金属製品と一緒に持ち運んだり、保管しないこと。  
(+)と(-)を逆にして使用しないこと。  
充電しないこと。  
本体に直接半田付けを行わないこと。  
新しい酸化銀電池と古い酸化銀電池、種類の異なる電池などを混用しないこと。  
使い切った電池はすぐに機器から取り出すこと。  
飲まないこと。飲込んだ場合はSECTION4応急処置にしたがう。  
大人が監視していないところで、子供に電池の交換をさせないこと。
- 保管                         ショートさせないよう元の包装のまま保管すること。  
水に濡らさないこと。  
直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管すること。  
推奨保管温度は+10℃～+30℃、相対湿度60%未満が好ましい

SECTION 8 — 曝露防止及び保護措置

- 電池は、ガスや液が漏出しないよう封止されており、前項に従って取り扱う場合は通常保護具を必要としないが、本体から大量の液体(電解液)が漏出している場合は保護具を着用すること。
  - 呼吸器の保護具： (フィルター付き)マスク
  - 手の保護具： 保護手袋
  - 目の保護具： 保護メガネ

SECTION 9 — 物理的及び化学的性質

形状	ボタン形電池
化学系	酸化銀 / 亜鉛
充電の可否	可 / (否)

SECTION 10 — 安定性及び反応性

安定性:	通常の使用・取扱い時は安定
避けるべき条件:	SECTION 7参照

SECTION 11 — 有害性情報

化学物質は電池缶で密閉されているため、有害性は無い。

SECTION 12 — 環境影響情報

廃棄した電池を土中に埋め立てた場合、金属の流出がほとんどないことが確認されている。ケースの変形や腐食などにより電解液が漏れ出る可能性があるが、この電池には水銀、鉛、カドミウムなどの重金属は使用されていない。その他の環境影響情報はない。

SECTION 13 — 廃棄上の注意

- 電池を廃棄する場合は、電池や金属の接触によりショート(短絡)しないよう、(+)と(-)をテープなどで絶縁してから廃棄する。
- 法律及び各地方自治体の条例に従って廃棄すること。

SECTION 14 — 輸送上の注意

- 酸化銀電池は輸送規則上の危険物質ではない。
- 酸化銀電池は航空輸送規則IATA危険物規則第66版において危険物として分類されておらず、また当社の包装は特別規定A123を満足しているので、通常貨物として輸送できる。
- 高温放置、水濡れ、結露及び／又は荷崩れの可能性のある輸送は避ける。

SECTION 15 — 適用法令

EU電池規則(Regulation(EU)2023/1542)

SECTION 16 — その他の情報

特になし

以上